

令和4年度 第2回 学校運営協議会（議事録）

○日時 令和4年11月8日（火）14時30分より

○場所 湘南台高等学校 会議室・各教室等

I 部 授業見学

- 1 出席委員 7名（欠席委員 2名）
- 2 見学等時間 14時35分～15時25分
- 3 概要 2・3年生の各授業及び施設

II 部 合同部会及び全体協議会

1 本協議会の会長について

保留であった川口委員より会長の承諾をいただいた事を伊藤校長より報告がされた。

2 会長あいさつ

川口委員より会長承諾の挨拶等があった。

3 学校見学の講評・感想等

- ・ここまで生徒が落ち着いた雰囲気で行うことができる学校は少ない。
- ・廊下のホワイトボードに連絡事項が記載されていて、わかりやすかった。
- ・学習活動の対話的要素は小学校から継続している。一斉授業で知識の伝達のみでの授業は今の時代は求められていない。各自どれだけ頭を使うかというものであるが、グループワークなど高校でも続いていることを見ることができて良かった。
- ・ICTの活用も小学校から中学校、そして高校へと継続している。学び方も変わってくる。視覚情報がよく使えていた。生徒はどのように見えているかお互いに見ながら進めていくともっと良くなると感じた。

4 報告事項

- (1) 1学期生徒による授業評価結果等 担当グループ総括より説明
- (2) 進路状況中間報告等 担当グループ総括より説明
- (3) 令和4年度の学校案内・学校説明会動画等 担当グループ総括教諭より説明
- (4) 令和4年度修学旅行報告 学年所属総括教諭より
- (5) 令和4年度インクルーシブ教育の推進 担当グループ総括教諭より説明

(6) 令和6年度からの神奈川県公立高等学校入学者選抜制度改善について

教頭より説明

(質疑応答)

質問 インクルーシブ特別募集の選考は、学区も撤廃され定員を超えることも考えられるが、その場合も面接のみで行うのか。

回答⇒その通りで、事前に評価の観点が教育委員会から公表されるので、それに沿った内容で面接を行う。他校では過去に定員を超え、不合格者が出た実例もある。事前発表の通りで選考を行う。

質問 授業評価は7月という早い時期に行っているのは、後期に向けて改善するなどが目的なのか。また、経年での比較はしているのか。

回答⇒7月の結果を踏まえて後期に向けて改善を図り、12月にもう1回授業評価を行っている。経年比較が難しいので今のところは行っていない。年度内でのPDCAサイクルは実行しているが、年度をまたぐとなるとなかなか難しい。

質問 授業評価の回収率はどれくらいか。また生徒への報告はどのようにしているのか。

回答⇒回収率は、授業中に行っているのではほぼ100%である。報告に関しては、年度末に考察を入れた上で保護者に向けた形で行っている。

5 協議事項

- (1) 令和4年度の学習交流中間報告 担当総括教諭より報告があった
- (2) 令和4年度の地域交流中間報告 担当総括教諭より報告があった
- (3) 令和4年度学校目標設定報告書中間検証について 各グループ総括教諭より報告があった。

(質疑応答)

【教育相談】

質問 スクールカウンセリングの状況や体制はどうなっているか。

回答⇒スクールカウンセリングは月2回、授業ごとに1人ずつで1日6人を受け入れている。

質問 スクールカウンセリングは保護者も利用できるのか。

回答⇒生徒だけ、保護者だけ、両方同時に、とそれぞれの利用がある。

質問 相談内容はどのようなものが多いか。

回答⇒友人関係や家庭環境など、多岐にわたっている。

意見 スクールカウンセリングの枠が少ない。自身も経験あるが、親子同時では難しいことも多く、保護者1時間、子ども1時間となると1日で3組しかできない。

多様化する悩みを抱える生徒、家庭での教育に悩みを持つ保護者、コロナの影響での不登校傾向の生徒、専門的なアドバイスを必要とする生徒・保護者など、カウンセリング利用者が増加傾向であるなら、予算要望をしっかりとってカウンセリング枠を拡大すべきではないか。

意見 湘南台高校では教育相談など丁寧に対応しているといった印象がある。

意見 スクールカウンセラーなど教員とは違った関係性の人と話せる場が必要だが、一方で教員である必要もあるので上手に対応して欲しい。

【ICTの活用】

質問 ICTを使い始めて、生徒の知識の吸収率や効率はどう変わったか。

回答⇒モニターを見て生徒がプリントに記入するような学習では大きくは変わらない。端末を持つことで、吸収よりも発信に重点が置かれている。今までは黒板に数名が答えを書きに出る形だったものが、端末により全員分を共有することができるようになった。英語では動画を作成して発表など、発信に使用することが多い。

意見 ICTについて、小中学校では端末が配付されているので慣れている生徒が増えるが、高校では通信環境が整っているかわからなかった。しかし、諸整備が進んでいるようでよかった。

意見 2年後には全員が端末を持つことになるが、使っていくうちに壊れるなど対応が大変であり、小中高共通の課題だと感じる。

意見 W i - f i 環境がもっと良くなって欲しい

意見 ICTは家庭環境の違いによる格差が広がる可能性があり、それへの対応が必要だと感じた。

【進路指導】

質問 進路で「社会情勢の変化で対応しきれない」とあるが、どのようなことか。

回答⇒受験の方法が多様化している。AO入試でもさまざまである。インターネットのみで出願できるなど、学校では把握しきれないことや対応が難しいことがある。

【インクルーシブ教育】

質問 特別募集で入学した生徒や一般の生徒はどのように思っているのかの声はあるのか。

回答⇒特にありません。また、アンケート等はしていません。

意見 インクルーシブ教育に対する感想が、パイロット校だけで実施していた頃は報告が多くあったが、今は特にない。制度が一般的になってきたということだろうか。

6 事務局より

- ・ 本日の協議内容は公開させていただく。
- ・ 次回は3月を予定します。

7 閉会 伊藤校長より

以上